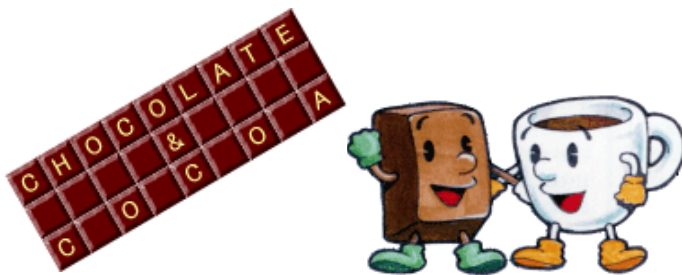


消費者の部屋通信

(平成28年3月号)

目次	☆ 特別展示の御紹介	1
	☆ 学校関係の訪問状況	3
	☆ 2月の消費者相談状況(速報)	4
	☆ 相談事例(2月分)	6
	☆ 地方の「消費者の部屋」だより	7



<特別展示>

おいしいだけじゃないよ

チョコレート・ココア

(2月1日～2月5日開催)



<特別展示>

LOVE

フラワーバレンタイン

(2月8日～2月12日開催)



シュガタン

<特別展示>

太陽と大地の恵み 砂糖

～日本の砂糖の安定供給を支える仕組み～

(2月15日～2月19日開催)



<特別展示>

日々の食生活と食品新素材

(2月22日～2月26日開催)

- ◆ 「消費者の部屋」では、消費者の皆さまとコミュニケーションを深めるために、農林水産行政や食生活などについての情報提供などを行っています。また、農林水産省の本省北別館1階で行われる特別展示には、多くの方々に御来場いただいております。

☆ 特別展示の御紹介

●平成28年2月の開催状況

期 間	特別展示名	入場者数
2月1日～2月5日	おいしいだけじゃないよ チョコレート・ココア	1,986人
2月8日～2月12日	LOVE フラワーバレンタイン	651人
2月15日～2月19日	太陽と大地の恵み 砂糖 ～日本の砂糖の安定供給を支える仕組み～	861人
2月22日～2月26日	日々の食生活と食品新素材	1,357人

●平成28年3月の特別展示

期 間	特別展示名
2月29日～3月4日	使って広めよう Goho-wood
3月7日～3月11日	再発見！東北の豊かなみのり～5年間の歩みとともに～
3月14日～3月18日	GAPで目指す一步先ゆく農業経営
3月22日～3月25日	地理的表示？ GIってな～に？

※特別展示の開催日以外の期間は、常設展示を開催します。

◆ テーマ『おいしいだけじゃないよ チョコレート・ココア』 ◆

チョコレートやココアに含まれている成分は、動脈硬化の予防など体に良いとされています。原材料や製品の展示を行うとともに、パネルを用いてチョコレートやココアの持つ効能・栄養についてわかりやすく紹介しました。



市販されているチョコレート商品を多数展示。



チョコレート・ココアの原料となるカカオ豆(カカオ果実の種子)模型を展示。

◆ テーマ『LOVE フラワーバレンタイン』 ◆

花き業界が一丸となって取り組んでいる「フラワーバレンタイン」活動や取り組みを、パネルやポスターで紹介しました。

また、フラワーアレンジメントやテーマフラワーの展示を行い、「フラワーバレンタイン」を体感していただきました。



会場は色とりどりの花と香りでいっぱい、イベントへのわくわく感も満載。



バレンタイン用にアレンジした花束を展示。

◆ テーマ『太陽と大地の恵み 砂糖 ～日本の砂糖の安定供給を支える仕組み～』 ◆

砂糖は私たちが生活する上で欠かすことの出来ない食品であり、日本の食料自給率の維持にも大きく寄与しています。私たちが毎日いろいろな形で摂取している砂糖の安定供給を支える仕組みをパネルでわかりやすく紹介しました。

展示では、バラエティ豊富な砂糖とその特性をご紹介するとともに、原料のさとうきびやてん菜が地域経済や雇用などを支えていることについて紹介しました。



てん菜とさとうきびの模型を展示。



市販の砂糖商品を多数展示するとともに、砂糖に関する基礎知識から安定供給の仕組みまで、パネルで詳しく紹介。

◆ テーマ『日々の食生活と食品新素材』◆

日々の食生活で摂取する穀類や野菜・果実類、魚介類には、ポリフェノールやカロテノイド、オリゴ糖、食物繊維、DHA・EPAなど、健康維持に欠かせないさまざまな有効成分が含まれています。

これらの成分を豊富に含む食品新素材にはどのようなものがあるのか、どんな働きがあるのか、どんな食品に利用されているのかを詳しく紹介しました。



さまざまな食品新素材についてパネルで説明。それに併せて、食品新素材が使用されている商品を展示。



今注目の「希少糖」を配合した甘味料の展示。

☆ 学校関係の訪問状況

「消費者の部屋」では、小・中・高校生などに対して、農林水産行政などをわかりやすく説明しています。平成28年2月の来訪者は以下のとおりです。

■ 平成28年2月の訪問	来訪者数
埼玉県 上尾市立東中学校（2年）	6名
合 計 1 校	6名



特別展示を熱心に見る生徒達。

～ 修学旅行や社会科見学などの訪問をお待ちしています ～

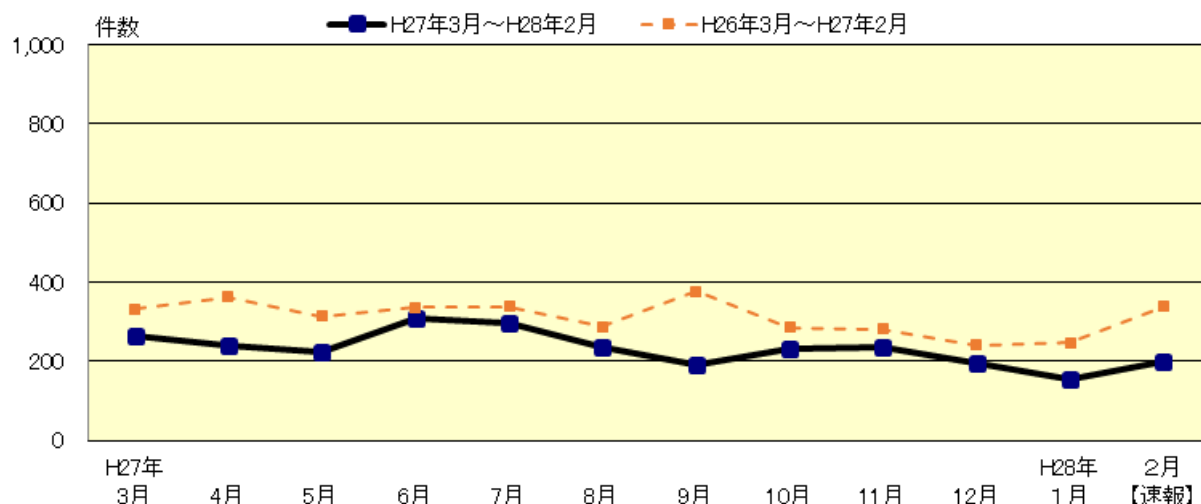
☆ 2月の消費者相談状況（速報）

～電話やメールで御相談を受け付けています～



2月の相談件数は、198件（前月155件）でした。このうち、問合せは176件、要望・意見は20件、その他は2件となりました。

図1 月別相談件数の推移

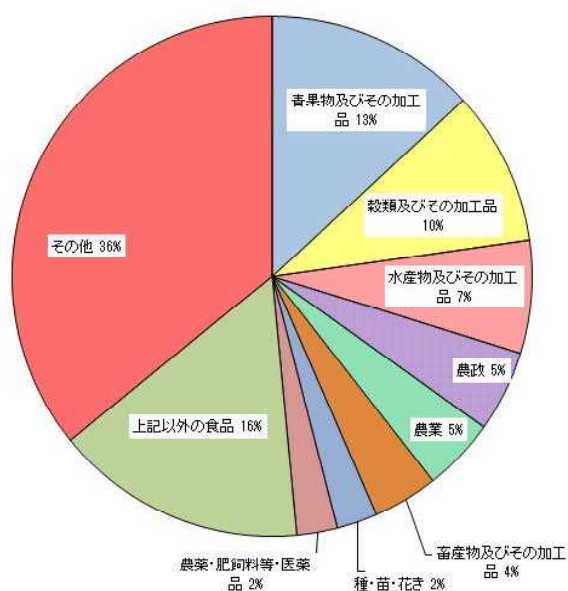


〔品目別相談件数〕

表1 品目別相談件数

	件数(前月件数)
青果物及びその加工品	26 (15)
穀類及びその加工品	19 (25)
水産物及びその加工品	14 (11)
農政	10 (9)
農業	9 (7)
畜産物及びその加工品	8 (10)
種・苗・花き	5 (3)
農薬・肥飼料等・医薬品	5 (2)
上記以外の食品	31 (19)
その他	71 (54)
合計	198 (155)

図2 品目別相談比率

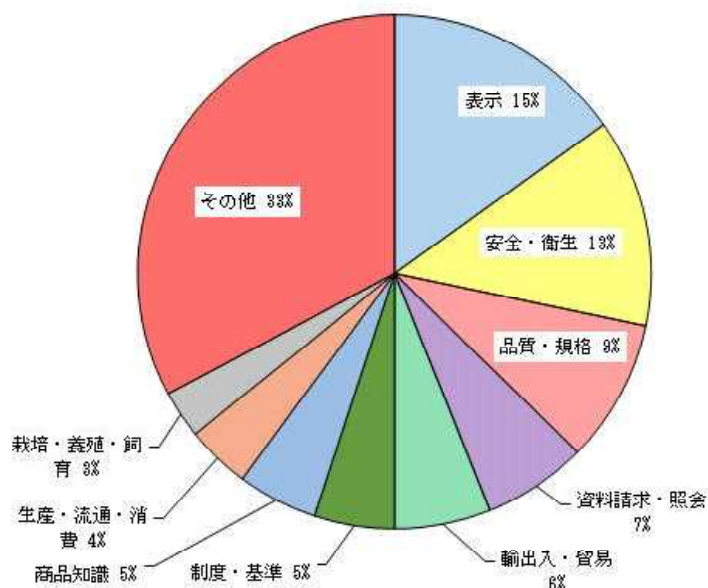


〔内容別相談件数〕

表2 内容別相談件数

	件数(前月件数)
表示	30 (25)
安全・衛生	26 (27)
品質・規格	18 (12)
資料請求・照会	13 (10)
輸出入・貿易	12 (5)
制度・基準	10 (10)
商品知識	10 (5)
生産・流通・消費	8 (10)
栽培・養殖・飼育	6 (4)
その他	65 (47)
合計	198 (155)

図3 内容別相談比率

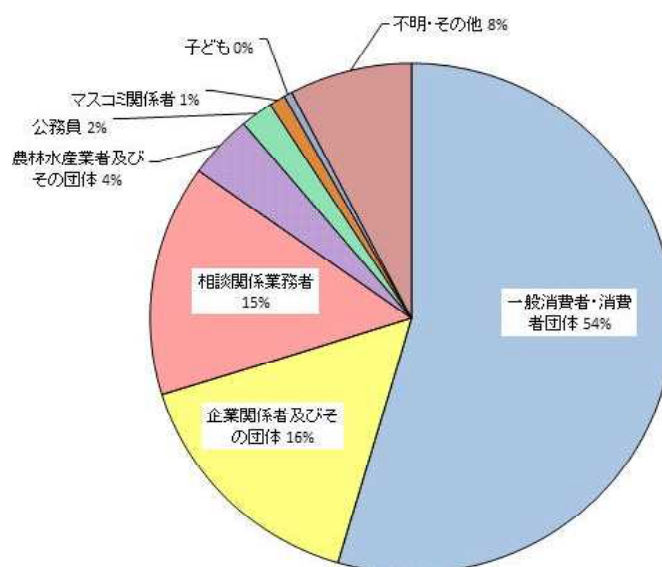


〔相談者別件数〕

表3 相談者別相談件数

	件数(前月件数)
一般消費者・消費者団体	108 (104)
企業関係者及びその団体	31 (17)
相談関係業務者	29 (13)
農林水産業従事者及びその団体	8 (6)
公務員	4 (2)
マスコミ関係者	2 (1)
子ども	1 (2)
不明・その他	15 (10)
合計	198 (155)

図4 相談者別相談比率



◆ 主な要望・意見

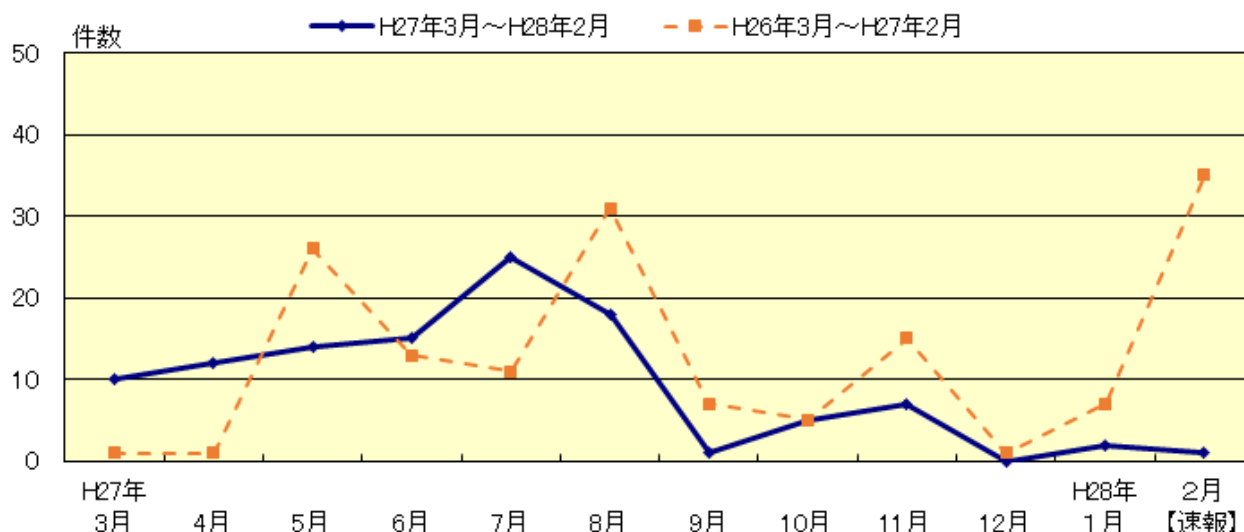
- * 農林水産業の従事者が高齢化している昨今、高齢者が農業で収入を得やすいように集荷を代行するシステム等を作ってはどうか。
- * 遺伝子組換え飼料や作物には不安があるので、出来るだけ使わないで欲しい。
- * 食の安全がブランドになるような施策、日本の農業を守る努力をしている人にインセンティブを与える施策を進めて欲しい。

【子ども相談】

子ども相談専用電話を設け、農林水産業や食品に関する子どもからの相談や質問にお答えしています。

2月の子ども相談件数は、前月より1件減少、1件となりました。

図5 子ども相談件数の推移



☆ 相談事例（2月分）

Q リンゴの表面がべとべとすることがありますがどうしてですか。また、リンゴの主な生産地はどこですか。

A：リンゴの果実は、それ自身が「ろう物質（果粉）」を分泌して内部を保護しています。リンゴの貯蔵期間が長くなると、皮に含まれるリノール酸やオレイン酸が増え、これが果粉を溶かすのでべとべとした状態になります。リンゴにワックスが塗られているのかとの御質問を受けますが、これらは、植物自体の生理現象なので食べても問題はありません。

平成26年産果樹生産出荷統計によりますと、リンゴは全国で730,800トンの出荷量があり、リンゴの主な生産地の第1位は青森県（424,800トン）で全国の約6割を占めています。次に長野県（143,500トン）、山形県（45,900トン）となっています。

（参考資料 「Q&A食品の不安解消の手引」（ぎょうせい）「平成26年産果樹生産出荷統計」（農林水産省））

☆ 地方の「消費者の部屋」だより

沖縄総合事務局 農林水産部 消費者の部屋

沖縄総合事務局は、沖縄都市モノレール「おもろまち駅」から徒歩で約15分の場所に位置しています。周辺には沖縄県立博物館・美術館、新都心公園等公共施設や大型ショッピングセンター等があります。

【消費者の部屋（常設展示）】

庁舎1階に「消費者の部屋」を開設して、食事バランスガイド、米の消費拡大等のパネルやフードモデル等の展示の他、DVDの上映を行っています。

また、関連図書の閲覧や農林水産行政等に関するパンフレットを常備して情報提供を行っています。机や椅子も用意し、ゆっくりご覧いただけるよう工夫しています。



【消費者の部屋（特別展示）】

沖縄総合事務局農林水産部では、本年度9回の特別展示を開催しました。

6月の食育月間には、消費者の部屋に隣接する行政情報プラザにて、「食育パネル展」を開催しました。沖縄版「食事バランスガイド」等の展示に加えて、今回はフードサンプルから献立を選んでもらい、栄養バランスをチェックする「食育SATシステム」による栄養指導や食育関係のDVD放映等を行い、食生活の改善を呼びかけました。その他、「さとうきびのパネル展」、「沖縄における農業農村整備事業」等の特別展示を行い、来場者に対して農林水産行政についての情報発信を行いました。



「食育パネル展」

【移動消費者の部屋】

県内各種イベントに合わせて「移動消費者の部屋」を設置し、パネル・ポスターの掲示や、パンフレットの配布を通じて、農林水産行政や食に関する情報提供を行っています。

1月に沖縄県立博物館・美術館にて行われた「沖縄県地産地消シンポジウム」においては、日本の食料自給率・自給力の現状について紹介した他、食育を通じた地産地消を推進するため、教育ファーム関連のポスター掲示・パンフレット配布を行いました。



「沖縄県地産地消シンポジウム」

沖縄総合事務局 農林水産部 消費・安全課

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち2-1-1

TEL:098-866-1672 FAX:098-860-1195

☆ 消費者の部屋ホームページを御覧ください！

* 消費者の部屋のホームページ(<http://www.maff.go.jp/j/heya/>)から、さまざまな情報が御覧いただけます。ぜひアクセスしてみてください。

◇消費者相談

過去の主な相談事例を掲載しています。

◇特別展示の御案内

特別展示のスケジュールや概要について紹介しています。また、パネルの内容や展示物の写真など、展示の一部を掲載し、東京霞が関まで足を運べなかった方々にも展示情報をお届けしています。

農林水産省ホームページ・トップ



農林水産省「消費者の部屋」へお越しの際は、北別館入口から入館していただくと、通行証無しで入室できます。皆様のお越しをお待ちしています。



東京メトロ「霞ヶ関」駅下車。A5、B3a出口すぐ。

平成28年3月発行

編集・発行 農林水産省 消費・安全局
消費者情報官「消費者の部屋」
担当：渡辺、橋本、結城、佐竹

相談電話 03-3591-6529

ファックス 03-5512-7651

子供相談電話 03-5512-1115

インターネット相談窓口：

<https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/1c41.html>